

# 基本計画

第3次岩出市長期総合計画「基本計画」の策定にあたって

まち・ひと・しごと創生総合戦略への取組について

第3次岩出市長期総合計画体系図

基本施策

第1章 住んでよかったと思えるまちづくり

第2章 安全で安心して暮らせるまちづくり

第3章 笑顔あふれるまちづくり

第4章 元気で健康なまちづくり

第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり

将来を見据えた持続可能な行財政運営

# 第3次岩出市長期総合計画「基本計画」の策定にあたって

## (1) 基本計画の見直し

第3次岩出市長期総合計画「基本計画」の策定にあたり、これまでのまちづくりの基本的な方向と施策を継承しながら、「第2次岩出市長期総合計画」及び「岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」によるこれまでの取組への評価・検証と今後の展開を踏まえ、施策、成果指標、取組方針などの見直しを行います。

## (2) 「総合戦略」との関係

「岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、これまで「第2次岩出市長期総合計画基本計画」で取り組んできたまちづくりの中で、人口減少対策の視点から政策展開の方向性を示したものであり、「第3次岩出市長期総合計画基本計画」と目指す方向性が同じであることから、「第2期岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包括した一体的な計画として策定します。

## (3) 社会経済情勢の変化への対応

人口減少・超高齢化社会が現実的なものとなり、グローバル化やデジタル化の進展による急激な社会経済情勢の変化など、これまで経験したことのない時代の転換期を迎えています。

このため、社会経済情勢が著しく変化する中、多様化する市民ニーズや行政課題に的確かつ柔軟に対応するため、実施計画において対応できる計画とします。

## (4) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の収束までには数年を要するとの予測もあり、先行き不透明の中、新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業については、実施計画において毎年見直す計画とします。

今後も事態の推移と国・県の動向を注視しながら鋭意検討を進め、感染拡大の防止や事業の継続など新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業について検討します。

## (5) 「SDGs」の要素を反映

SDGsとは、平成27年（2015年）9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

国は「誰一人取り残さない」社会を実現するためには、広くSDGsを浸透させる必要があることから、地方自治体においても、様々な計画にSDGsの要素を反映することを期待しています。

本市においても、基本計画の各基本施策にSDGsの目標に関連付け、施策を展開することでSDGsの推進を図ります。



# まち・ひと・しごと創生総合戦略への取組について

## 総合戦略の推進

将来の人口減少に歯止めをかけ、本市の活力の維持・向上を図るため、国総合戦略に掲げられている以下の政策5原則を踏まえて、効果的な施策を展開します。

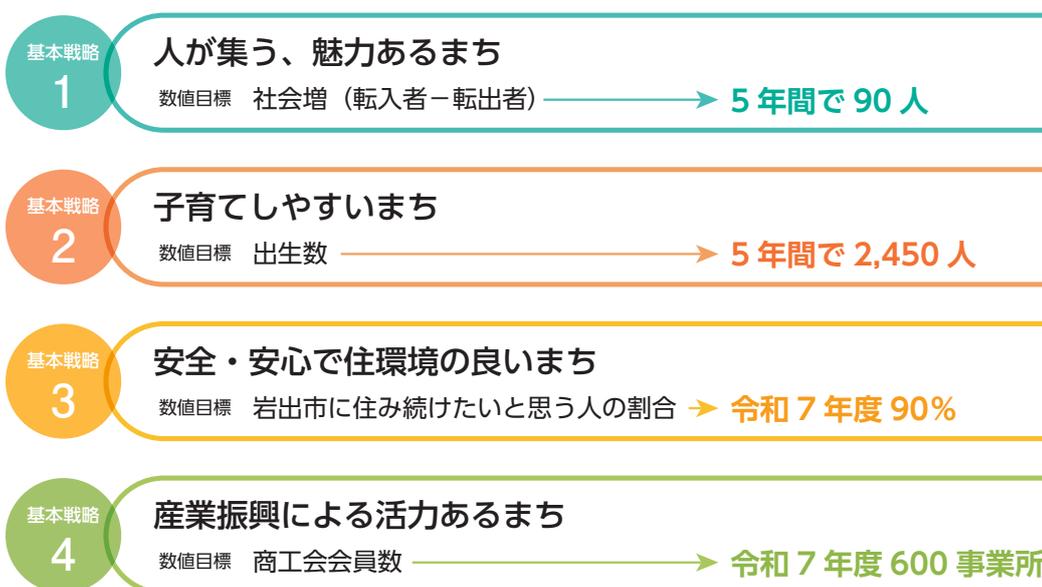
### 【まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則】

1. 自立性：地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。
2. 将来性：施策が一過性の対処療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。
3. 地域性：地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。
4. 総合性：施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。
5. 結果重視：施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的指標により評価し、必要な改善を行う。

## 総合戦略の目標

本市では、人口減少への抑制を図るため、これまで積み重ねてきたまちづくりをさらに発展させ、人口減少時代に対応した魅力ある岩出市づくりを基本に「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現を目指します。

以上のことを踏まえて、本市の総合戦略における基本戦略とその数値目標を以下の4つとします。



## 第3次岩出市長期総合計画体系図

